

参議院議員選挙結果について

昨年の総選挙で大勝した民主党が、謙虚さを失い数にものをいわせた強引な国会運営を行うなど、国民の期待に応える政治を実現しなかったことに対し、日本人のバランス感覚が働き、逆に票が振れる結果となったのだろう。

今回の選挙を菅政権に対する信任投票という意味合いで考えれば、不信任とまでは言えないまでも、国民はイエローカードを示したと言える。政権交代時に掲げたマニフェストの実効性や、政権運営における対応の甘さ、消費税に関する菅首相の曖昧な発言などに対する国民の不安が主な敗因であり、国民の信頼を回復するには、菅政権は余程の覚悟をもって今後の政権運営に臨まなければならない。

まずは、選挙前に策定した新成長戦略と財政運営戦略に加えて、「強い社会保障」に対する戦略を早急に策定し、それぞれを具体的施策に落とし込んでいくことが政権与党の喫緊の課題であり、超党派での活発で透明感のある議論とスピード感のある実行を期待したい。

また、会期切れで廃案になった地球温暖化対策基本法案は、環境ビジネス分野で日本企業が世界に貢献していくためにも、実現可能な環境政策とシナリオを次期国会へ再提案し、早急に具体的な制度設計を進めていただきたい。

京都選挙区においては現職が順当に当選された。地域主権社会における京都のビジョンを地元関係者と共有しながら、精力的な議員活動に取り組んでもらいたい。

平成22年7月12日

京都商工会議所
会頭 立石 義雄